

王滝渓谷

王滝渓谷は、豊田の市街地と松平郷の間に位置する静かなハイキングスポットである。全長 1.8 キロの渓谷の深さは 148 メートルで、仁王川が下流の巴川に流れ込む際の急流によって作られている。渓谷の西端には妙昌寺があり、川の両岸には「不動山展望台」と「梟ヶ城展望台」という 2 つの展望台がある。どちらも渓谷を一望することができる。川沿いには遊歩道が整備されており、渓谷の奥まった場所にある歌石園地や王滝湖まで東へ続いている。

渓谷には木々が生い茂り、川の近くは暗くて涼しく、まるで熱帯雨林のようだ。水の流れと相まって、木の幹や岩、川に架かる橋などに苔が生えるのに最適な環境を作り出している。川の中の大きな古い岩にも、人の手が入っていない湿った環境で育つ苔が生えている。

渓谷の入り口から王滝湖までは、往復で約 3 時間かかる。湖畔にはバーベキューエリアのある広い公園があり、真っ赤な王滝湖かけ橋が印象的だ。渓谷はどの季節も美しいが、特に秋の紅葉、春の梅や桜の花が人気だ。